



シグマ光機株式会社

証券コード：7713

第44期 中間報告書

2018年6月1日 ▶ 2018年11月30日

Contents

株主の皆様へ

第2四半期の業績 (連結)

プレスリリース

2019年5月期業績見通し (連結)

第2四半期のセグメント別概況

Topics製品紹介 オプティカルケージシステム

CSR活動・株主様アンケート結果のご報告

連結財務諸表

株式の状況/会社概要

光なら、きっとできる。

Light Solutions for Life®

 OptoSigma®

経営理念

我社は光産業を通じ、社会に貢献します。

Light Solutions
for Life[®]
光なら、きっとできる。

「感謝」「挑戦」「創出」



「Globalization」 「Diversity」 「Flexibility」
ドイツ開催の展示会での近藤社長(赤いシャツ)。
グループ会社間交流を兼ねて当社社員を同行。

光の時代がやってきています。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期は、売上高が前年同期比6.2%増の46億8百万円、経常利益は前年同期比4.8%増の7億9千7百万円となり、前年同期比で増収増益となりました。近年、最先端の研究開発分野及び産業分野において、「サイズ・形状」、「長さ・距離」、「時間」等に要求される精度が高度化しており、それらの要求に応える、より高精度な計測・観察・加工技術等の鍵となる光技術の需要はますます広がりを見せております。当社においても、光技術の更なる需要の増大に対応する取り組みとして、新工場棟の建設及び海外子会社設立を決定いたしました。引き続き、有望な成長分野に対する積極的な事業展開とより強固な経営基盤の構築を推進し、持続的な成長と企業価値の最大化を目指し、着実な株主還元をめぐる所存でございますので、株主の皆様におかれましては、今後とも何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

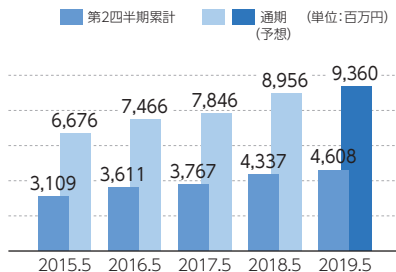
シグマ光機株式会社

代表取締役社長 **近藤 洋介**

第2四半期の業績（連結）

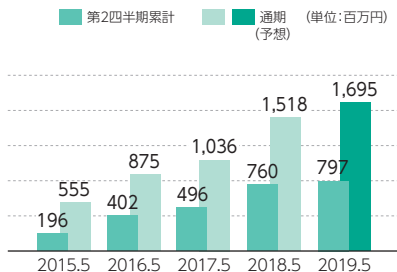
売上高 46億8百万円

(前年同期比 6.2%増)



経常利益 7億9千7百万円

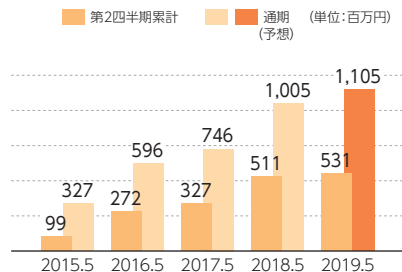
(前年同期比 4.8%増)



親会社株主に帰属する

四半期(当期)純利益 5億3千1百万円

(前年同期比 3.8%増)



プレスリリース：新工場棟の建設・海外子会社設立



新工場棟の建設（埼玉県日高市）

今回、当社の本社・日高工場内に新工場棟を建設することを決定いたしました。より高品質・高付加価値な製品の生産技術の開発と生産能力の増強、生産設備の再配置や自動化・高速化などによる生産性の向上を目的としています。レーザの活用が拡大し、更に大きな成長が見込まれる最先端の光産業において、お客様ニーズに迅速に対応することで、中長期における持続的な成長を目指してまいります。（竣工：2020年2月予定）



海外子会社設立（シンガポール共和国）

更なる成長が見込まれる東南アジア市場でのビジネス展開を強化するため、シンガポールに新たな子会社を設立することを決定いたしました。よりお客様の近くで販売活動及びサービス活動を実施することで、当社ブランド「OptoSigma®」の浸透を図るとともに、マーケットニーズに沿ったソリューション提案を強化することで同市場におけるシェア拡大を目指してまいります。（設立：2019年4月開設予定）

詳細の情報はこちらをご覧ください。

http://www.sigma-koki.com/pages/ir/press_jp.php



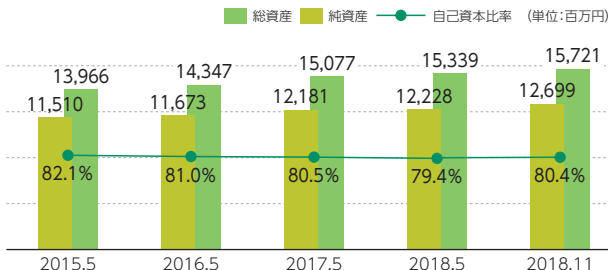
2019年5月期業績見通し（連結）

2019年5月期連結業績予想

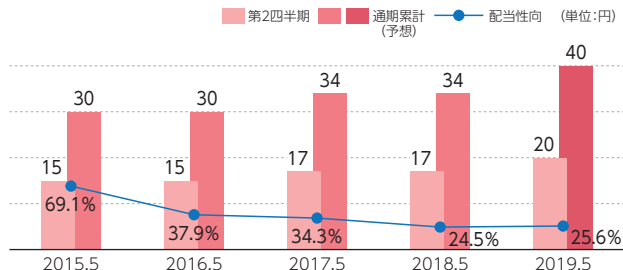
産業分野の設備投資は、成長ペースは減速しつつも緩やかな回復基調で推移しておりますが、米国・中国を中心に景気の先行きに不確実性が増してきております。そのような中、当社第44期中間配当は、期初予想通り1株当たり20円とさせていただき、安定的な株主還元を行ってまいります。

売上高	93億60百万円（前期比4.5%増）
営業利益	16億20百万円（前期比13.0%増）
経常利益	16億95百万円（前期比11.6%増）
親会社株主に 帰属する当期純利益	11億05百万円（前期比9.9%増）

総資産・純資産 自己資本比率



配当金、配当性向



第2四半期のセグメント別概況

要素部品事業

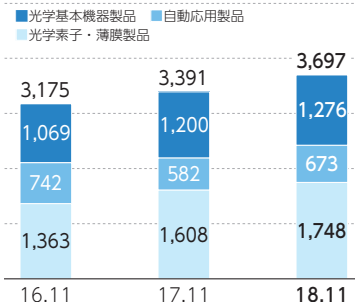
売上高



9.0%増

(前年同期比 306百万円増)

(単位：百万円)



ポイント

光学素子・薄膜製品、自動応用製品が堅調

大学・官公庁向けはやや軟調に推移も、産業分野向けの需要は堅調に推移いたしました。F P D業界向けや電子部品・半導体業界向けでは、光学素子・薄膜製品の需要が拡大基調で推移し、バイオ業界向けでは、自動応用製品が堅調に推移いたしました。また、欧州地域の需要は堅調に推移いたしました。米国は低調に推移いたしました。

システム製品事業

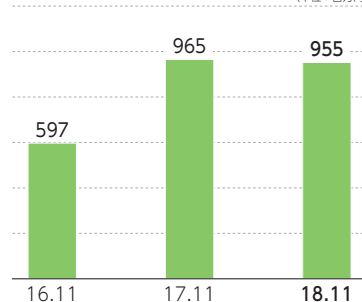
売上高



1.0%減

(前年同期比 9百万円減)

(単位：百万円)



ポイント

先行きの不確実性を反映し横ばい推移

産業分野における設備投資は、緩やかな回復基調で推移も、需要は横ばいで推移いたしました。F P D業界向けや電子部品・半導体業界向けの光学ユニット製品の需要は、先行きの不確実性を反映してやや弱含みで推移し、バイオ業界向け及び光学測定・分析装置製品や観察光学系システム製品の需要は横ばいで推移いたしました。

Topics 製品紹介 オプティカルケージシステム



▲従来の光学系で構築した干渉計



◀ケージシステムで構築した干渉計

光学実験用光学系の新しい形

3本または4本の細長いロッドに、各種光学素子を組み込むことができる光学系実体配置ツールです。3次元の立体的な光学系の配置が可能となり、機能拡張性も優れているため、研究室等での光学実験に効果的です。

3次元光学系構築



優れた機能拡張性



▲スロットイン形式 (当社オリジナル機構)

CSR活動

当社では、東京大学を中心として発足した大学院教育プログラムの「先端レーザー科学教育研修コンソーシアム（CORAL）」をはじめ、大学や専門学会等での講義及び実習の実施や、企業や大学・自治体と連携した「レーザ安全セミナー」の開催等により、光科学分野の人材育成と光技術の発展に取り組んでおります。また、女性従業員を含む全ての従業員が働きがいのある環境の推進、及び女性リーダー育成を目的とした当社独自プログラムの「働く女性サミット」を実施しております。

先端レーザー科学教育研修コンソーシアム（CORAL）



レーザ安全セミナー



働く女性サミット



株主様アンケート結果のご報告

株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

第43期報告書で実施させていただきましたアンケートにつきまして、アンケート対象の全株主様3,518名（2018年5月31日時点）の約2%に相当する69名の株主様からのご回答をいただきました。お寄せいただきましたご意見・ご要望等は、今後の会社経営及びIR活動に活かしてまいります。

株主様からのご意見

Q | 5年後、10年後に向けて、どのような技術開発を行っているのか

A | 高精細化、高精密化、高耐久性、高性能化などのニーズに対する技術的イノベーションの進展は、常に新しい光技術を求めております。例えば、各種センサーの需要が増加するエレクトロニクス業界等の産業分野においては、半導体や電子機器の微細化、積層化等が進んでおり、レーザ光を利用した加工技術・検査技術の需要は年々高まっております。また、学術研究分野においても、物理・天文・バイオ・エネルギー・アグリなどの様々な分野で光技術が求められる等、産業分野・学術研究分野の発展において光技術が不可欠となっております。このような状況の中、当社では、産業装置向けの光学モジュール及び光学ユニット製品のラインナップの増強や、新しい学術研究等のニーズに合ったレーザ波長や硝材を使用した光学製品の開発、特殊形状加工及び小型化・大型化というあらゆるニーズに対応できる技術開発・生産体制の構築を進めております。

※個別案件につきましては、お答えできかねますので、何卒ご了承ください。

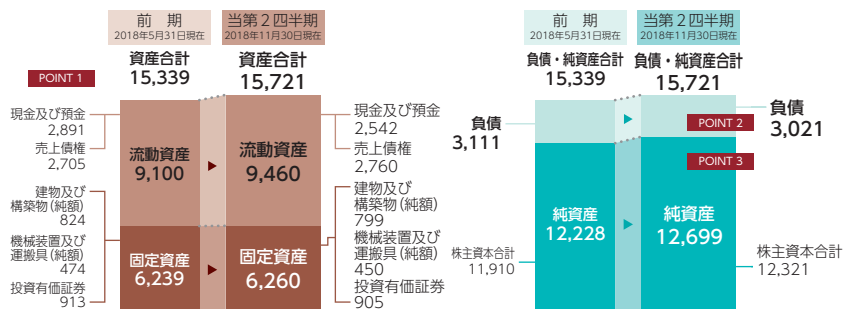
株主様からのご意見・ご要望のご紹介

- 堅実なハイテク企業として、より一層、頑張ってください。
- 独自の技術で業績の向上と増配を期待しています。
- 事業内容が報告書によって、わかりやすく載っているのがいいと思います。
- 今後の躍進が期待できるとして長期に保有したいと思っています。

連結財務諸表

連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



POINT 1

資産の変動

流動資産は、有価証券、受取手形及び売掛金がそれぞれ増加し、現金及び預金が減少したこと等により前期末比で4.0%増加しました。固定資産は、有形固定資産の「その他」に含まれる工具、器具及び備品、繰延税金資産がそれぞれ増加し、建物及び構築物、機械装置及び運搬具がそれぞれ減少したこと等により前期末比で0.3%増加しました。

POINT 2

負債の変動

流動負債は、支払手形から支払方法を変更したことにより電子記録債務が増加しましたが、支払手形及び買掛金、役員賞与引当金がそれぞれ減少したこと等により前期末比で2.4%減少しました。固定負債は、長期借入金(純額)が減少したこと等により前期末比で3.9%減少しました。

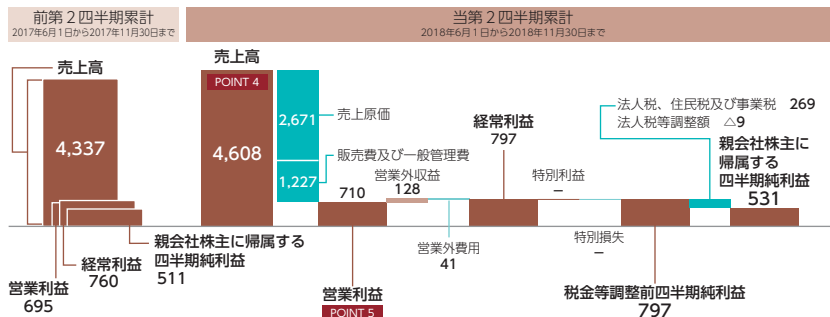
POINT 3

純資産の変動

純資産は、前期末比3.8%増加しました。また、自己資本比率は80.4%となりました。

連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



POINT 4

売上高の動き

大学・官公庁の研究開発分野においては、需要はやや軟調に推移しました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野においては、研究開発投資の緩やかな回復基調が継続し、国内・アジア地域のFPD・電子部品・半導体業界向け光学要素部品が堅調に推移いたしました。また、米国地域の需要は低調に推移も、欧州地域の需要が堅調に推移し、前年同期比で6.2%の増収となりました。

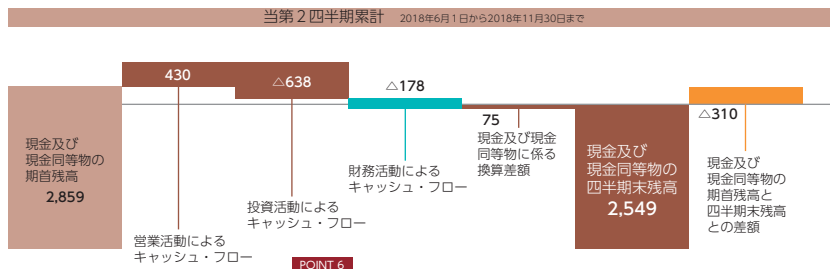
POINT 5

営業利益の動き

増収による利益拡大も、増産に伴う材料費及び外注加工費等の増加、積極的な営業展開による販売促進費等の増加やグループ子会社の増員等により、前年同期比で2.0%の増益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



POINT 6

キャッシュ・フローの状況

営業CFの資金獲得の主たる要因は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費等による増加や、法人税等の支払、棚卸資産の増加等による減少となります。投資CFの資金使用の主たる要因は、有価証券の増加による支出や有形・無形固定資産の取得による支出等による減少となります。財務CFの資金使用の主たる要因は、長期借入れによる収入等による増加や、配当金の支払、長期借入金の返済による支出等による減少となります。



株式の状況／会社概要

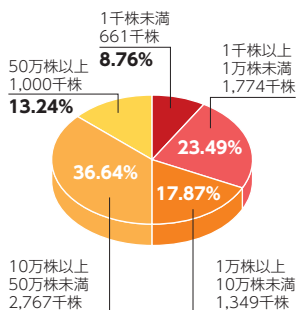
株式の状況 (2018年11月30日現在)

- ①発行可能株式総数 32,000,000株
- ②発行済株式の総数 7,552,628株
- ③株主数 3,988名
(前期末比470名増)
- ④主要株主

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
浜松ホトニクス株式会社	1,000	14.12
シグマ光機取引先持株会	374	5.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	268	3.80
シグマ光機従業員持株会	214	3.03
森 聡二	204	2.89
株式会社埼玉りそな銀行	203	2.87
富国生命保険相互会社	200	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	184	2.60
株式会社津島建材	179	2.53
株式会社サンライズクリエート	148	2.09

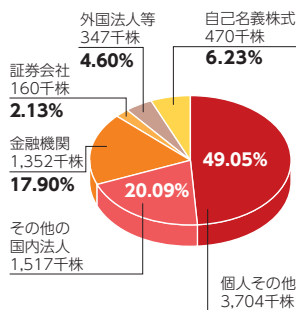
- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しております。
 3. 持株比率は、自己株式(470,304株)を控除して計算しております。

所有株数別株式分布状況



- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しております。
 3. 自己株式(470,304株)を含んでおります。

所有者別株式分布状況



会社概要 (2018年11月30日現在)

- 社名** シグマ光機株式会社
- 本社** 埼玉県日高市下高萩新田17番地2
- 設立** 1977年(昭和52年)4月
- 資本金** 26億2,334万円
- 従業員数** 340名
- 役員**
 - 代表取締役社長 近藤 洋介
 - 取締役 中村 良二
 - 取締役 多幡 能徳
 - 取締役 小林 祐二
 - 常勤監査役 山口 秀一
 - 監査役 南雲 幸一
 - 監査役 野崎 誠

- (注) 1. 小林祐二氏は社外取締役であります。
 2. 南雲幸一氏及び野崎誠氏の2氏は社外監査役であります。
 3. 社外監査役 野崎誠氏は独立役員であります。

◆ 主な事業所

- 本社・日高工場
- 東京本社
- 大阪支店
- 九州営業所
- 能登工場
- 技術センター

◆ 関連会社

- OptoSigma Corporation
- OptoSigma Europe S.A.S.
- 上海西格瑪光机有限公司
- タックコート株式会社

当社の中間報告書は、「UDフォント」を採用しています

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしております。



株主メモ


事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会 毎年8月開催
基準日 定時株主総会 毎年5月31日
期末配当金 毎年5月31日
中間配当を行う場合は、毎年11月30日

単元株式数 100株
公告方法 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行く。
電子公告URL <http://www.sigma-koki.com/>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。


株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)  **0120-782-031** (通話料無料)
(インターネット ホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座(特別口座といます。)を開設しております。左記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご注意ください。

〈特別口座に関するご照会先〉

(特別口座 口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社
(郵便物送付先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)  **0120-288-324** (通話料無料)

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

※なお、抽選は同時期に実施されている他社株主アンケートへの回答者を含めて行われます。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **7713**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp/>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-6779-9487 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

 **シグマ光機株式会社**
東京本社 東京都墨田区緑1-19-9
TEL.03-5638-8221 (総務部)

UD
FONT

